



《企業紹介》

同社は小売業でベトナム最大の企業グループである。スマートフォンなどのモバイル情報機器を販売するテーゾイジードン (TGDD)、家庭用電気製品を販売するディエンマイサイン (DMX)、ベトナム南部を中心に小型食品スーパーを展開するバックホアサイン (BHX) の 3 つの小売チェーンを中心に小売業を展開している。近年では医薬品小売事業 (アンカン) やマタニティ用品 (アバキッズ) へ進出するなど、業態の多角化にも積極的に取り組んでいる。

《2025 年 7－9 月期業績》

2025 年 7－9 月期の売上高は前年同期比 16.7%増の 39.8 兆 VND (ベトナムドン) だった。TGDD と DMX 合計の売上高は同 20.4%増の 27.0 兆 VND となった。2025 年 9 月末の合計店舗数は同 0.7%減の 3,031 店舗だったが、既存店売上高の増加ペースが 1－6 月累計の同 12%増から 1－9 月累計の 15%に加速しており、既存店売上高の好調が牽引役だったと考えられる。 아이폰やノートパソコンが好調だったことに加え、品ぞろえや各種サービスの拡充が貢献したとみられる。情報機器や家電製品の販売では引き続き高水準の競争力を維持しているようだ。

その他の売上高は同 9.0%増の 12.7 兆 VND となった。BHX の 2025 年 9 月末の店舗数が同 32.7%増の 2,290 店舗と大きく増加したことが貢献したとみられる。医薬品小売事業のアンカンとマタニティ用品のアバキッズは、新規出店を抑制し、引き続き店舗当たりの売上高の増加に注力しているが、1－9 月累計の売上高は前年同期比でほぼ横ばいになっており、成長への貢献はみられない。

BHX の新規出店コストの上昇によって粗利益率は同 1.4%ポイント低下の 18.8%となり、粗利益は同 8.5%増の 7.4 兆 VND にとどまった。一方、既存店売上高の好調による生産性向上によって販売費と一般管理費の合計が同 2.2%減の 5.6 兆 VND に減少したこと、金融収支の受取超過額が前年同期の 2,449 億 VND から 3,983 億 VND に増加したこと、営業外費用が減少したことなどが貢献し、税前利益は同 103.4%増の 2.1 兆 VND となった。税負担の減少純利益は同 40.6%増の 1.6 兆 VND となった。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

|                  | 2024年7-9月期 |           | 2024年10-12月期 |           | 2025年1-3月期 |           | 2025年4-6月期 |           | 2025年7-9月期 |           |
|------------------|------------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|
|                  |            | 前年同期比 (%) |              | 前年同期比 (%) |            | 前年同期比 (%) |            | 前年同期比 (%) |            | 前年同期比 (%) |
| 売上高              | 34,146.7   | 12.7      | 34,573.9     | 9.2       | 36,135.0   | 14.8      | 37,620.0   | 10.2      | 39,852.5   | 16.7      |
| 売上総損益            | 6,891.9    | 21.4      | 6,587.0      | 6.5       | 7,200.4    | 7.3       | 7,568.7    | 3.6       | 7,478.2    | 8.5       |
| (売上総損益率%, %ポイント) | 20.2       | 1.4       | 19.1         | -0.5      | 19.9       | -1.4      | 20.1       | -1.3      | 18.8       | -1.4      |
| 金融収支(マイナスは収入)    | -244.9     | -         | -446.6       | -         | -354.3     | -         | -366.4     | -         | -398.3     | -         |
| 販売費              | 4,849.0    | -8.8      | 5,123.1      | -8.6      | 4,403.0    | -8.7      | 4,703.3    | -7.0      | 4,570.8    | -5.7      |
| 一般管理費            | 967.6      | 183.3     | 916.4        | 236.6     | 1,214.6    | 39.9      | 1,201.7    | 47.7      | 1,119.4    | 15.7      |
| 税前利益             | 1,068.0    | 486.8     | 1,035.5      | 373.0     | 1,934.7    | 60.4      | 2,028.2    | 33.8      | 2,172.4    | 103.4     |
| 純利益              | 800.1      | 1,965.5   | 847.0        | 838.4     | 1,545.9    | 71.3      | 1,648.1    | 40.6      | 1,770.9    | 121.3     |

出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より 180 日

News20251023

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

# モバイルワールド（MWG）



## 《株価の動向》

図表 2 は同社の株価と VN 指数の 2024 年末終値を 100 として指数化したものである。同社の株価は概ね VN 指数と連動して推移しており、10 月 22 日時点の 2024 年末比上昇率は VN 指数が 33%、同社が同 39% となっている。10 月 23 日終値 84,500VND で計算した同社の時価総額は 124.9 兆 VND で、これは 2024 年 12 月期の税引後利益実績 3.7 兆 VND の 34 倍となっている。

同社は、2025 年 12 月期の売上高を前期比 12% 増の 150 兆 VND、税引後利益を同 30% 増の 4 兆 8,500 億 VND としているが、2025 年 1-9 月実績の進捗率は、売上高が 76%、税引後利益が 103% となっている。既に税引後利益は計画を超過していることから、収益力の改善は BHX の新規出店コストを吸収し、会社想定を大きく上回って進んでいると考えられる。

内需拡大策を進める政府は、規制緩和などを通して住宅開発を積極的に後押しする方針である。住宅販売が回復すれば、当然ながら白物家電や AV 製品、情報家電の需要拡大が期待できることから、TGDD と DMX の既存店売上高の好調や収益力の改善が続くことが見込める。また、中長期的には、ベトナムの個人消費拡大を追い風に BHX の出店攻勢を軸とした成長戦略が利益成長を押し上げることも期待できる。引き続き月次販売や四半期決算の動向に注目し、成長戦略の進捗状況を確認する必要があるだろう。

図表2 株価推移



### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20251023

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。